

神奈川山梨教会連合会だより

# かりん

今村則子先生は、昭和五十年大阪生まれ。ご実家は曾祖父の代より島根県浜田教会の信者でしたが、お父様が上京をきっかけに信心から遠ざかり、金光教のことを知らずに育ちました。

先生が十歳の頃、大阪の扇町教会の信徒の方にお父様が声を掛けられ、家族でお参りするようになりまし。両親が共働きのため、教会の先生方に随分お世話になったそうです。

高校卒業後、一年間の教会修行の後に学院へ。翌年教師を拝命。その後、生麦教会の今村誠先生と平成九年に結婚され、今は三男一女のお母さんです。

Q 則子先生は、信徒のご家庭にお育ちになりましたが、どうして教師になろうと思うまでになられたのですか？

則子師(以下則子) 高校生になった頃はそんなことは全く思っていないでして。ただ、子供の時から受け続けている「恩」は漠然と心のどこかにおいて、大人になってもなるべく御用をさせて頂こうと思っていました。

しかし、三年生になる頃、ふと「教会で御用をさせて頂かないといけない」という感情が、どこから湧いてきて、そうお届けさせて頂きました。とは言え、お取次を願った後でも、「御用はやっぱりやめて、短大で遊びたい」というようなことを言っていて、両親を困らせていました。それが、秋のご大祭前のお掃除で

窓を拭かせて頂いた時、ものすごく有難い気持ち溢れ、その事で決心が固まりました。

Q 教師になり、教会で御用をされるようになって、新たに発見したお道の魅力はありますか？

則子 お説教ではなく、日常生活の中での信心話を聞かせて頂く時間が増え、自分を見直す事が増えた：かな？

川でスベって山でコロんで……とってきました

## Interview

第22回 今村則子先生(生麦教会)



Q 以前、出産・子育て世代のママ対象に「金ピカ！ママちゃんねる」というミニコミ誌を出されていきました。その冊子を通して

を感じたこと・得たことをお話し頂けますか？

則子 「ママちゃんねる」は、二人目が生まれた一年後、二〇〇一年の一月から約六年間発行させて頂き、

現在は休止中です。始めようと思っただけは、ママ友達が近所に来ても、信心をしているママ友達が周りにいなくて、子育てに関する教えなど、聞きたいお話が聞けなかつた事からでした。信者さんの多い教会はいいですが、同世代の人がいない教会では悶々としているのではないのでしょうか。本屋にあ

る育児雑誌の金光教版があればいいのにナと考え、小規模なものなら作れるのでは：と思いい、出させて頂きました。

Q 当然なことかも知れませんが、一般の育児雑誌とは違った視点で編集されていたように思っています。

則子 そうですね。子供の教育や医療、情報などなら、一般の育児雑誌を読んだ方が全然いいですからね。私は、教話だけでも楽しく難しくなく、忙しいお母さんでもちょっと読めるようなものを先ず目指しました。一番難しかったしかなかったのは、金光教を信仰する人の育児漫画を載せること。先輩や同期の先生方に提供して頂き、大変お世話になりました。また、三代様の奥様の子育て話など、昔の先生方の子育てに関するお話を抜粋し、自分の感想と共に掲載させて頂いたり、読者アンケートも「子育てと信心」をテーマに集計させて頂いたりしていました。

Q 今後は、どのようなことに挑戦していきたいですか？

則子 また「ママちゃんねる」を復活させて、今度は子育て中のお母さん方と一緒に、紙面を作って行きたいと思っています。一人で作っていると、どうしても考えが偏り、企画もマンネリ気味になりがちです。また、そういう場を作って、みんなと触れ合える機会が作れたらいいな、という思いもあります。

子育て中は、何かと動きにくく孤独感を味わいがちです。「奮闘している仲間がいる」と思え、少し心が楽になって貰える：そういう物や場を作っていければと思います。

ありがとうございました。(山田 浩子)

## 連合会活動に携わって

教師部次長 安 達 幸 則

はじめに、昭和55年の教規改正により、教会連合会は次のように定められた。

①教会連合会は、教会が連帯して地域における教団活動を推進するため、教会活動の互助連絡及び布教活動等を行うとともに、教区活動を担う。

②教会連合会は、一定地域における教会をもって組織するとある。

さて昭和58年東京都教会連合会に、新たな育成活動として青年室が新設され、私が担当することになった。その活動は前例もなく、何をもって育成活動をすればよいのか？先輩の先生方の助言を受けつつ、夏のソフトボール集会と冬のスキー集会（春休みに子どもスキー教室）を中心にスタートしたのであった。それらの集会を企画し推進する上で、青年教師の方々に加わってもらい、日時や場所（宿泊地や野球場）交通機関など手配するとともに、各教会に青少年の参加を依頼することから始まった。当初は、なかなか各教会の賛同協力も得られず、また、連合会活動は幹事会をもって決定される仕組みから、企画した活動にも「何が育成だ」ただの遊びだと非難を浴びることもあった。そうした現状から、来年はもう辞めようと考えたこともあったが、

参加の人達から「楽しかった。在籍教会以外の人との交流も生まれ、是非来年も参加したい」との有難い言葉に勇気づけられての活動は、徐々に参加教会の協力も得られるようになり参加者も増えて行った。

そして首都圏布教100年のお年柄には、「布教と連帯」との合言葉が掲げられた。これは各教会が連帯して布教活動を推進することだと思いが、この年には、参加教会も半数を超え、スキー集会では(65名)、ソフトボール集会は(150名)を数えるまでの集会となった。この活動内容は、紙面の都合で詳細には言えないが、常に「金光教の名を知らしめる」との布教に向けてのアピールもさることながら、活動の願いとして「安全・仲間づくり」をもとにして、怪我人が出ることなく毎年開催することが出来たのである。また、奇跡的な神様のおかげも蒙らせて頂いた活動であった。その他に、親子釣り大会、古切手・テレカ収集、テニス集会などがある。

こうした一連の活動で、人材の発掘とリーダー育成を願い、スタッフとして集会の運営に加わってもらうなど、企画・実践・反省までの御用に取り組んで頂いた。連合会活動は、各教会の理解と協力なくして出来るものではなく、人材発掘と育成活動は教会布教にも重要な課題だと実感する15年であった。

## かりんの輪

広報配布

野毛教会 鈴木 弘



私は、横浜市都筑区いわゆる港北ニュータウンと言われ、緑が多いことが人気となり年々人口が増加し、現在では横浜市で最も増加率が高い場所に住んでおります。

六十五歳で商売を辞め、すぐにシルバー人材センターへ登録し、県や市から出される臨時の新聞を毎月一回各家庭の郵便ポストへ入れる仕事を受けるようになりました。自分の健康と社会のお役にもなる仕事で大変おかげを受けています。今年で既に十年になりますが、始めた時は自分の住む町内六丁目のみで四百五十世帯でしたが、その後隣の町内にも配布するようになり、現在では二千五百世帯に配布を行っております。三日から四日を掛けて約三万五千歩、距離にして約十八キロ歩きます。配布中は町内の防犯パトロールの腕章をつけ、犯罪を未然に防ぐことも心掛けております。

夏の暑い時期は大変ですが、朝五時から夕方まで配布するようにし、日中は休むようにしております。坂道もあり、階段が十五段くらいある家も多く、ポストの近くに大きな犬をつないでいる家もあります。大きくてもお

## 親子のつどい'09

## 手作りうどんにチャレンジ

去る九月十二日(土)、観音崎青少年の村を会場に「親子のつどい」が催されました。今年も、「手作りうどんにチャレンジ」と題して、四十一名の参加者が四班に分かれて、うどん作りを楽しみました。

はじめに簡単な説明を聞いて、まずは「水回し」。粉(最近はどうん用の粉があります)と塩水をボールに入れて混ぜ合わせていきます。粘土みたいなグニャグニャ感に子どもも大人も夢中です。

だいたい形が整ってきたら、厚手のビニール袋に入れて足で踏んでいきます。(ドンドン飛び跳ねる子どもたちもいましたが、踵でじっくり踏んでいく方が良いでしょう)表面がシットリしてきたら一時間くらい寝かせます。寝かせている間に、近くの観音崎自然博物館の見学に行きました。

帰ってきたら、少し柔らかくなったらうどんの塊を、また踏みながら伸ばしていきます。板に打ち粉をして、さらに麺棒で伸ばします。手つきのいい班、ナカナカ延ばせない班、色々ありました。直径七十センチくらいまで上手に伸ばし、上手に畳んで、さあ切っていきます。切る人によって太いや細いのがあってのご愛敬。

続いて茹でます。ここでは大人の出番、付きっきりでくっつかないように、お湯の中のうどんを掻き混ぜ、額に汗しながら自分達が打ったうどんを見守る姿は、目頭が熱くなる：まではいきませんが、微笑ましい光景でした。

子ども達が外で遊んでいるうちに、うどんが茹で上がり、みんなが博物館に行っている間から揚げていた天ぷらも整って、午後一時すぎによいよ食事です。さすがにそれまで騒がしかった会場も静まりかえり、それぞれ自分が打ったうどんを堪能しました。終わってみんなでお片付け。子ども達も粉が散った会場を雑巾掛けしてお手伝い、大人も子どもも力を合わせてキレイに片付きました。

今回は教会や家族を超えて班を作ったこともあり、帰りには名残り惜しうにお別れをしていただきました。

みなさん是非、また来年をお楽しみに。



(村田 光治)

となしい犬、よく吠える犬、いつもポケットにはジャーキー(犬の餌)を忍ばせております。永い配布仕事の間には、盛り上がった芝に足を取られ前のめりに転ぶところを、とっさに一回転し難を逃れたり、ポストの前に車止めがあつて、これに躓き目の前の壁に手を着き転ぶのを防ぐことが出来たりと、全てに神様のおかげを受けております。また、配布先で「ありがとう」「ご苦労さん」と声を掛けてくださる人も多く、大変うれしく思います。私も新聞や郵便を受ける時は、必ず声を掛けるようにしています。

今年の一月で後期高齢者の仲間入りをしましたが、神様のおかげで元気でおられますので、引き続き配布の仕事をして行きたいと思っております。

私は、長い間の人生の中で、仕事の上でもおかげを受けるようなことは数えきれず、また今までに大病や大怪我もなく、入院したこともないと言う、大きなおかげをいただいております。

今年、立教一五〇年というおめでたいお年柄、十月四日の御本部での御大祭にお参り出来たことを楽しみに、更には御大祭において、大勢の信奉者の方々と一緒に、神前拝詞の奉唱が出来ますことは、本当に喜ばしいことだと思います。

これからも一層、信心を深め、人の助かる信心をせねばならぬと思っております。

# 平成21年 神奈川山梨教会連合会 生神金光大神大祭日程

教会名	日 程	時 間
甲 府	10月18日(日)	13時30分～
津 久 井	10月24日(土)	13時00分～
鎌 倉	10月25日(日)	13時30分～
登 戸	10月25日(日)	13時00分～
横 浜 西	10月25日(日)	13時00分～
大 明	10月25日(日)	13時30分～
川 崎	10月31日(土)	13時00分～
生 麦	11月1日(日)	13時00分～
子 安	11月1日(日)	13時30分～
横 須 賀	11月3日(祝)	13時30分～
丸 子	11月3日(祝) 併 布教60年記念祭	13時00分～
相 模 原	11月3日(祝)	13時00分～
平 塚	11月7日(土) 併 布教80年記念祭	11時00分～
武 蔵 小 杉	11月8日(日)	11時00分～
鶴 見	11月11日(水)	13時00分～
野 毛	11月14日(土)	13時30分～
大 磯	11月14日(土)	13時00分～
神 奈 川	11月22日(日)	11時30分～
小 田 原	11月23日(祝)	14時00分～
藤 沢	11月28日(土)	11時00分～
南 甲 府	未 定	

## 東京センターよりお知らせ

公開講座 こんこうセミナー2009

### 「金光教の歴史を描きながら」

#### 「出会い」の世界のひろがり

日 時 十月十七日(土) 午後二時～四時  
会 場 金光教東京センタービル 三階

丸ノ内線「本郷三丁目駅」徒歩五分  
総武線「水道橋駅」徒歩十五分

講 師 大林 浩 治 氏

(金光教教学研究所 部長)

参加費 三〇〇円

お問合せ (〇三―三八―八一六三二一)

## 連合会からのお知らせ

### 「講話と夕食の会」ご案内

日時 十二月十九日(土) 午後三時～七時

場所 神奈川教会 二階ホール

講 題 「認知症の妻を介護して」

講 師 早野 嘉一さん (野毛教会)

認知症に罹られた奥様を介護されている早野さんの体験談をお聴きします。詳細は各教会宛にお送りするポスターをご覧ください。

## 〈な・が・れ〉

### 『想いはおくに参り・御礼参り』

丸子教会 横山 光雄

東京―岡山間 新幹線貸切臨時列車を利用するのは四回目である。昭和五十八年教祖百年祭、昭和六十三年首都圏布教百年、そして、この度の立教百五十年である。

明治二十一年立教三十年の折りに「おくに参り」ということで東京教会を中心に参拝しておられる。その後、明治四十一年六月「東京参拝団」として初めて東京から臨時列車が出ておる。その「東京参拝団」の請願により、現在六月に行われている教団独立記念祭が誕生した。昭和二十八年十月教祖七十年祭に「関東教区参拝団」として名称が変わり、昭和六十三年首都圏百年の折りに「首都圏参拝団」(現在は首都圏フォーラム主催)として運行がされている。神奈川県では、平成四年神奈川布教百年に夜行列車が出ている、また十二年にも教団独立百年に四回目の運行をして頂きました。「おくに参り」当初は十八時間以上かけて、ワクワクしながらの御礼参拝であった。と聞かされていた。そんなワクワクしながら感謝を込めて御礼参拝をしたいものである。

金光教神奈川山梨教会連合会

発行者 福田 光一

横浜市神奈川区青木町六一―二十五

〒221-0057 金光教神奈川教会内